

# 令和6年度 近畿大学大学院 商学研究科 博士後期課程

## 一般入学試験問題〔専門科目〕

### ■出題文

日本の人口減少は都市部よりも地方においてその現象が著しいです。とりわけ、生産年齢人口の減少は3つの大きな問題を引き起こしています。生産年齢人口が減少し続けていることによって、超高齢化、労働者の人手不足、年金制度への影響という日本の将来に関わる3つの問題が生じています。これらの諸問題を解決する有効な手段の一つが「観光」と言われています。「地域活性化」ひいては「地方創生を促す観光の役割」について論じなさい。

### 出題意図

本問題は、日本が直面する人口減少、とりわけ地方で進む生産年齢人口の縮小が引き起こす課題を正確に理解し、その解決策として期待される「観光」の役割を考察させることを目的としている。超高齢化、労働力不足、年金制度の不安定化といった将来に直結する問題を背景に、観光が地域経済の再生や活力の創出にどのように寄与し得るかを整理する力が求められる。受験者は、提示された文章の内容を的確に読み取り、問題全体の要旨をつかんだうえで、必要な点とそうでない点を見分けながら、自分の考えを筋道立ててまとめることが期待される。限られた字数内で簡潔かつ正確に表現する読解力と文章力を問う問題である。